



いしのまき水辺の緑の プロムナード計画

平成23年2月
石巻市

目次

1 計画の策定にあたって

石巻は、北上川と石巻湾の水の利を活かして栄えた石巻湊が礎となったものであり、今も私たちの周りには旧北上川をはじめ北上運河や雲雀野海岸などの豊かですばらしい水辺が広がり、市民の「誇り」そして「宝」であります。

しかし、このような水辺も「歩く場所が無い」「車が危険」など気軽に近寄れないところもあります。また、豊かな水辺は石巻の観光資源でもあり、活かしきれていないのが現状であります。

そのため、市民そして観光客が気軽に水辺に集い、「憩い」「楽しみ」そして将来を担う子供たちがふるさと石巻を「学べる」ことができるような石巻らしい水辺を、この計画からスタートしたいと考えております。

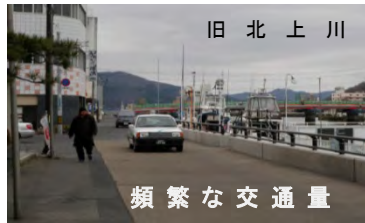
石巻市長 亀山 紘

1 計画の策定にあたって	1頁
2 計画の目的、進め方	2頁
3 プロムナードルート及び拠点の選定	3頁
4 雲雀野海岸のルート、拠点、ポイント	4頁
4-1 雲雀野海岸のポイント	4頁
4-2 プロムナードルート「潮風ルート」	5頁
4-3 プロムナード拠点「いしのまき港公園」	6頁
5 旧北上川右岸下流のルート、拠点、ポイント	7頁
5-1 旧北上川右岸下流のポイント	7頁
5-2 プロムナードルート「旧北上川と石巻湊ルート」	8頁
5-3 プロムナード拠点「水辺の癒し空間」	9頁
5-4 プロムナード拠点「食・彩・感動いしのまき」	10頁
5-5 プロムナード拠点「プロムナードステーション」	11頁
6 旧北上川左岸のルート、拠点、ポイント	12頁
6-1 旧北上川左岸のポイント	12頁
6-2 プロムナードルート「歴史と漁港ルート」	13頁
6-3 プロムナード拠点「石巻観光マリーナ」	14頁
7 旧北上川右岸上流のルート、拠点、ポイント	15頁
7-1 旧北上川右岸上流のポイント	15頁
7-2 プロムナードルート「川の風を楽しむルート」	16頁
7-3 プロムナード拠点「旧北上川水辺広場」	17頁
8 北北上運河のルート、拠点、ポイント	18頁
8-1 北北上運河のポイント	18頁
8-2 プロムナードルート「運河ルート」	19頁
8-3 プロムナード拠点「水辺の交流広場」	20頁
8-4 プロムナード拠点「水と緑と子供たちの広場」	21頁
9 計画実現に向けて	22頁
(参考) 計画策定にあたり懇談会委員及び住民からいただいた意見等	23頁

2. 計画の目的、進め方

(1) 計画策定の背景・目的

- 石巻には、悠々とした流れを感じる旧北上川や近代日本開拓の息吹を感じる北北上運河(貞山運河)、潮風を感じ往来する船舶を眺められる雲雀野海岸などの貴重な水辺空間があり、水運で栄えた石巻の顔、そして観光資源である。
- しかし、これら水辺空間は、歩行者が安全で快適に歩くための散策道(プロムナード)が整ってないことや、道が不連続で歩きにくいなどの問題や課題があり、市民や観光客が気軽に水辺に近づき散策を楽しめる環境にはなっていない。(観光資源の未活用)
- そのため、水辺のすばらしさを感じ、安全で快適に散策できる「いしのまき水辺の緑のプロムナード」を整備そして水辺の利活用の促進を図るものである。



▲ 水辺の現状

(3) 計画策定懇談会

計画懇談会メンバーは、プロムナードの利活用を重視し、旧北上川や北北上運河で活動を行っている市民団体、そして石巻湊の歴史、旧北上川の観光振興、女性や若者の視点などから6名の委員を選定した。さらに旧北上川と北北上運河等に係る行政担当として4名のオブザーバーに参画いただいた。(委員及びオブザーバー 計10名)

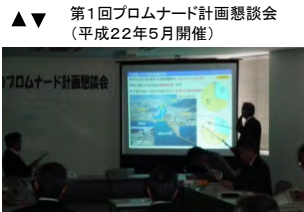
懇談会委員(6名)

東北学院大学 経営学部 教授(舟運文化)	齋藤 善之
石巻専修大学 経営学科 特任教授(観光学)	清水 義春
石巻千石船の会 会長	邊見 清二
母なる北上川を愛する女性の会 会長	毛利 スミ子
(社)石巻青年会議所 理事長	千葉 郁雄
石巻市長	龜山 紘

オブザーバー(4名)

国土交通省 北上川下流河川事務所長	島田 昭一
宮城県 東部地方振興事務所長	戸村 俊幸
宮城県 東部土木事務所長	鷺巣 俊之
宮城県 石巻港湾事務所長	浅野 耕作

※宮城県東部地方振興事務所長は、8月18日開催の第2回まで佐々木昭男氏が参画



敬称略

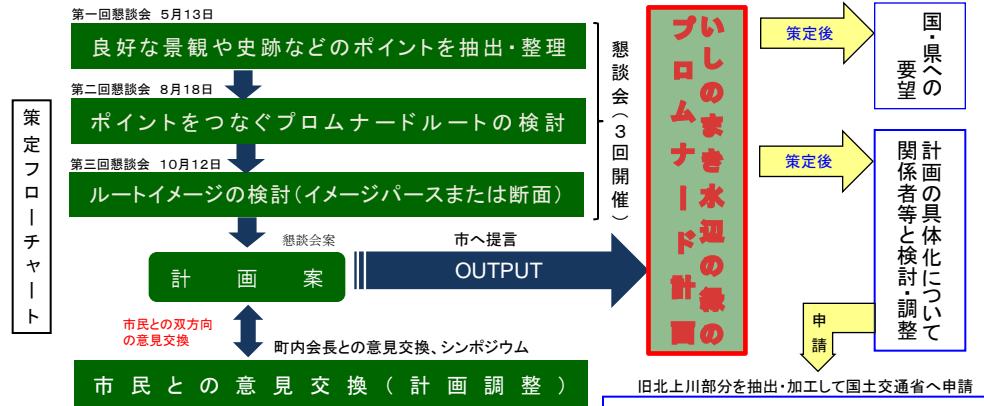
敬称略

(2) 計画策定の考え方とフロー

- プロムナードの目的そして効果としては、①市民や観光客が気軽に水辺を楽しみながら歴史文化等を知る、②石巻の将来を担う子供たちに旧北上川を学び知ってもらう、③憩いと健康の増進、④観光振興などを期待。
- 中心市街地を囲む水辺空間(雲雀野海岸～旧北上川～北上運河)※を計画範囲とする。
※中心市街地活性化との連携を念頭として中心市街地を囲む水辺を範囲
- 計画目標をおおむね10年後とし、プロムナードイメージや断面についても10年後の姿をイメージ。
- 気軽に水辺に親しむ計画のため、水上利用の検討は行わない。
- 整備等の方向性を定めた計画(具体的な設計やスケジュールは無い)。
- 計画に記載の整備・管理・利活用は、国・県・市・民間・NPOや市民団体・市民等を範囲とする。

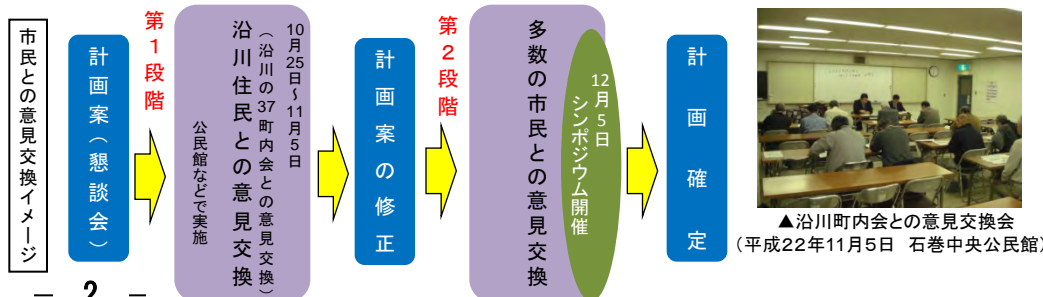


中心市街地活性化との連携を考え、中心市街地を囲む水辺をプロムナードとして具体を検討



(4) 計画策定に係る市民との意見交換(計画調整)

本プロムナード計画を円滑に推進していくためには、行政(国・県・市)と市民による適切な役割分担のもと、緊密に連携して取り組んでいく必要がある。(特に、拠点の利活用や運営等については、地域の方々の理解と協力が不可欠) このため、計画策定段階から多くの市民にも参画していただき、ご意見を伺いながら計画づくりを進める。



3. プロムナードルート及び拠点の選定

水辺の景観や点在する観光ポイント、地区の特徴、堤防整備や散策路の有無などを総合的に勘案して、5ルート8拠点を選定。

いしのまき水辺の緑のプロムナード計画
ルート及び拠点(5ルート8拠点)

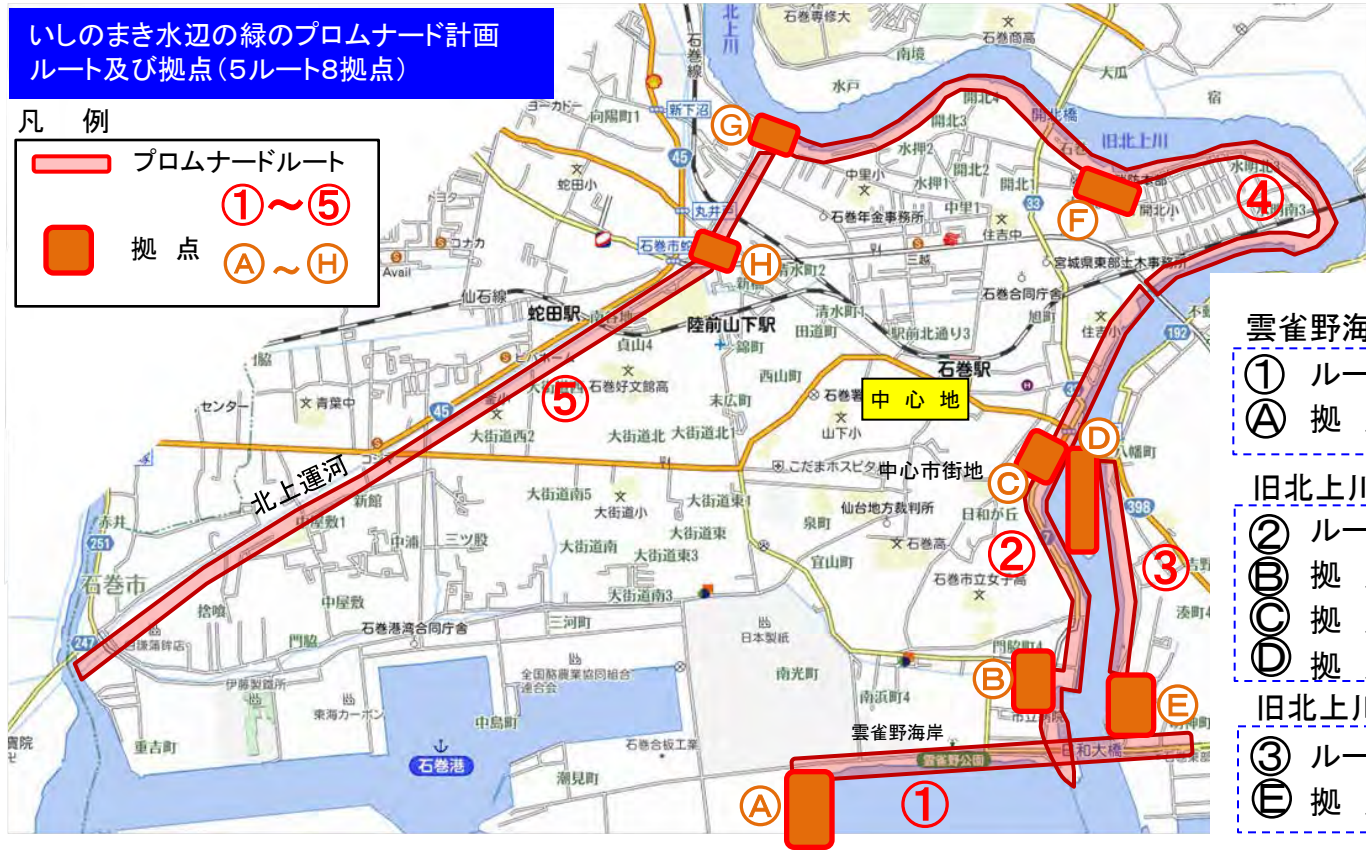
凡 例

プロムナードルート

①～⑤

拠点

A～H



ルートと拠点の配置の考え方

ルートと拠点とは連携して機能するものとし、1つのルートには拠点を少なくとも1つ以上は配置。

ルート及び拠点一覧

※ブロック別に整理(破線でブロックを整理)

雲雀野海岸(日和大橋を含む)

- ① ルート「雲雀野海岸・日和大橋」
- A 拠点「石巻港臨港緑地」

旧北上川右岸下流(河口～門脇～住吉)

- ② ルート「旧北上川右岸下流」
- B 拠点「文化センターと離島航路待合所」
- C 拠点「旧丸光ビル周辺」
- D 拠点「中瀬・内海橋」

旧北上川左岸(川口～湊～八幡)

- ③ ルート「旧北上川左岸」
- E 拠点「ヤマニシ造船所跡地」

旧北上川右岸上流(水明～大橋～運河交流館)

- ④ ルート「旧北上川右岸上流」
- F 拠点「大橋地区」

北北上運河(石井閘門～釜閘門)

- ⑤ ルート「北北上運河」
- G 拠点「運河交流館」
- H 拠点「水と緑と子供たちの広場」

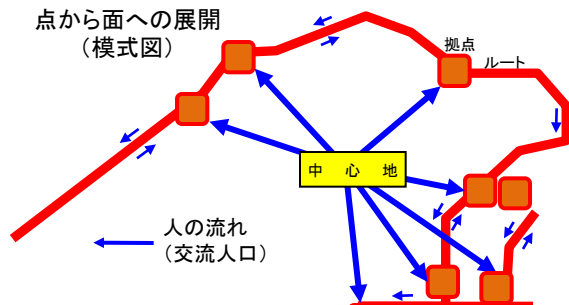
水辺の緑のプロムナードによる

中心市街地活性化の推進

(点から面への交流人口の広がり)

- 駅や市役所などの中心地から、中瀬などの「拠点」へと人の流れをつくり、さらに「拠点」からプロムナードを通して次の「拠点」やルートの往復により、中心地の点を面的な広がりへと展開。
- 展開にあたっては、拠点の魅力を高めるとともに、プロムナードを歩いてみたいようなイベントなどの企画が大切(例えば歴史探訪ツアーなど)
- 拠点には、機能として「トイレ」「休憩施設」「駐車場」「バス停(近傍)」を備える必要性(ルート・拠点ごとに特徴あり)。
- 中心地から拠点への移動については、みんなが利用でき、環境にやさしい自転車も検討(自転車シェアリング)。

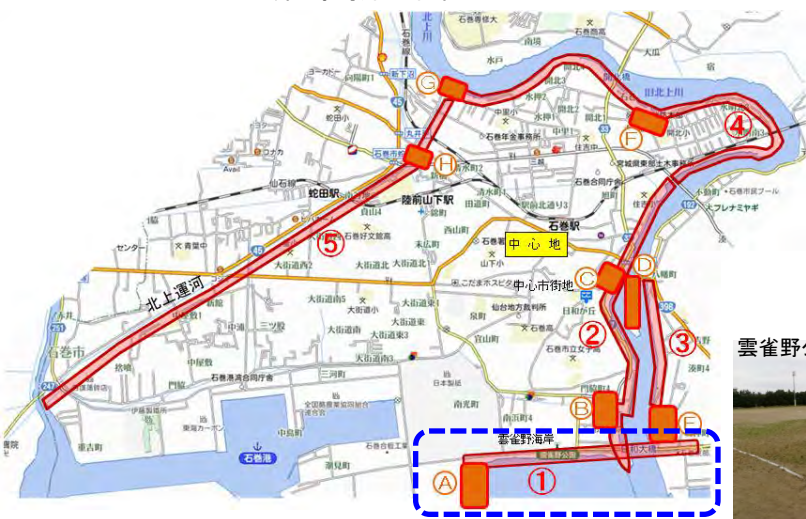
点から面への展開
(模式図)



ルート・拠点と中心地の連携

4. 雲雀野海岸のルート、拠点、ポイント

雲雀野海岸の位置



雲雀野公園の運動広場



▲芝を整備し利活用の推進を図る

4-1 雲雀野海岸のポイント

- 雲雀野海岸は、石巻湾が望める素晴らしいロケーションとなっており、展望台からは往来する船や遠くの島々が眺められる。特に日和大橋からは、雄大な石巻湾と市街地・旧北上川が眺望。
- 波の音そして潮風が心地よい。
- 臨港道路は交通量が多いが、近所の人は散歩などで歩道を歩いている姿を見かける。
- 雲雀野海岸の沿川には「濡れ仏」や巽(たつみ)神社や恩賜燈があり、石巻の歴史そして危険と隣合わせだった千石船の船乗りたちの思いを今に伝えている(海岸の歴史探訪ポイント)。
- 日和大橋からは、石巻湾そして旧北上川河口部と市街地を一望できる素晴らしい風景が楽しめる

雲雀野海岸



海岸の史蹟等



石巻絵図より



▲石巻絵図に描かれている濡れ仏

恩賜燈



河口石巻港の水難防止のため作られた燈台で、現在地より川側にあったが移設されたものという

拡大



たつみ巽神社



注) 碑にみえる北上川改修事務所 今泉政勝氏は、明治44年～昭和9年に行われた北上川改修工事を担当した北上川改修事務所(昭和9年7月31日廃止)の工事であり、昭和9年度は同事務所石巻工場(石巻市門脇町海岸通)勤務であった。石巻工場は昭和6年～9年に施工された旧北上川河口導流堤を担当していた

海岸沿いの臨港道路



日和大橋



雲雀野海岸の展望台



ルート
1

ルートテーマ

海辺の憩いそして心地よい汗を誘う
「潮風ルート」

ルート方向性

- 海辺を快適に潮風を身体に受けながら散歩できるプロムナード(波の音を聞きながらウォーキングやジョギング、散歩)
- ジョギングなどの運動での利用を考慮した工夫(⇒カラー舗装や距離標)
- 途中々休憩し、海辺の景色を眺められるよう配慮(⇒ベンチの設置)
- 植生については、潮風に強く、周辺環境と調和するものを検討。

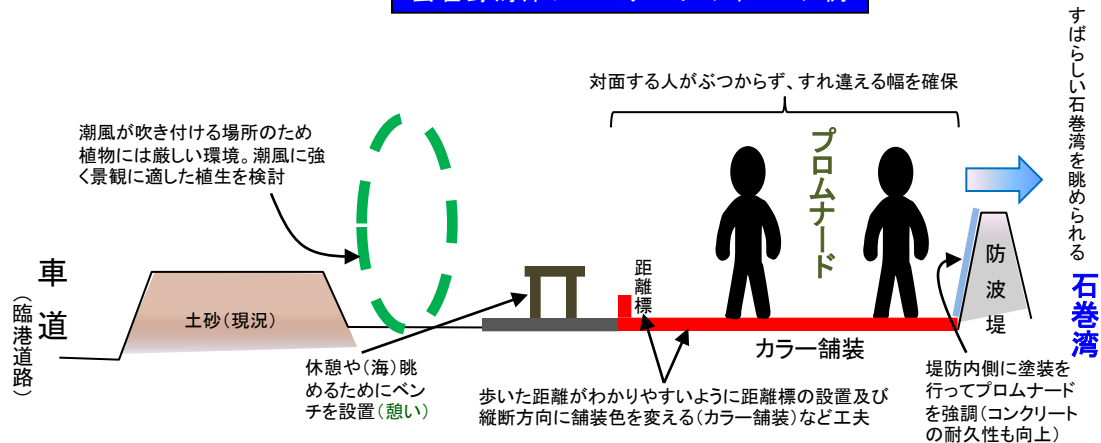
水辺の現況

- 雲雀野防波堤は、海岸浸食防止と越波防止として効果を発揮し、堤内地の盛土は潮受として機能。
- 散策路が無いいため、海辺の散策は一部区間に限定され、海岸に沿っての散策は厳しい状況。
- 展望台が整備され、天気の良い日には往來する船や遠くの島々が遠望できる。



ルートイメージ

雲雀野海岸プロムナードのイメージ例



利活用方策

- 水辺の緑のプロムナード計画ルートの中で唯一約1kmもの一直線路となるプロムナードであり、散歩という機能のほか、直線をいかしたマラソンやジョギングなどのスポーツ面での活用も期待(⇒整備として例えば100m間隔でカラー舗装の色を変えたり、距離標を設置して進んだ距離がわかる工夫など)。



- 石巻湾からの心地よい風が吹き、海岸に打ち寄せる波のサウンドや往來する船や遠くの島々を眺められるルートであり、景色を眺めながらくつろげる場所(⇒ベンチなど休憩施設を設置)
- プロムナードの維持管理や利活用を推進するため、町内会などの市民団体による清掃活動や植栽の管理、イベント企画・実施などを推進。



- プロムナード利用を推進する観点から、プロムナードを使ったウォーキング講習会やレクリエーションなどを企画実施。



実現に向けて

- プロムナードの整備実現に向けてプロムナード計画を県へ提言(雲雀野海岸を管理する県と市との連携事業)。
- 利活用を踏まえた整備を図る考えから、海岸を利用している人(例えば部活などで海岸を使って練習している高校生そして散歩をしている方など)を対象とした聞き取り調査などを踏まえて、詳細な整備内容を検討。
- 潮風が吹き付けるため、植物が生育するには厳しい環境であり、植物の専門家などの意見を伺いながら、植生に取り組む。また景観についても地元の方からの意見などを伺い検討する。
- 臨港道路の横断については、横断できる場所を限定するように工夫するとともに、安全性が確保できるように検討する。



潮風と太陽を浴びながら運動やイベントを楽しむ 「いしのまき港公園」

拠点方向性

- 約10.2haもの広大な敷地を活用して、大人数を集めるイベントの開催や運動などのレクリエーションを推進（現在は埋立していないので敷地は無い）。
- また、家族で気持ちいい休日を過ごせることにも配慮（広い芝生）。
- 運動での利活用を目指す雲雀野海岸のプロムナードと連携したイベントの実施。

水辺の現況

- 石巻港港湾計画にて、臨港緑地（約10.2ha）が計画されており、現在はまだ埋立が行われていない。
- 絶えず海風が吹いており、波浪が発達する日は波しぶきがかかる。



▲ 雲雀野海岸の埋立予定地（臨港緑地予定地）

整備実現に向けて

- 臨港緑地の埋立は、港湾整備として取り組むものであることから、国県に対して臨港緑地の必要性や有効性、地域活性化への寄与などをPR（要望）。
- 臨港緑地は、石巻港の地域振興策の一つとして掲げているものであり、他の振興策である「港湾感謝祭」「大型客船誘致」を推進し、振興策の進展（臨港緑地の整備）につなげていく。

（参考）

石巻港地域振興に掲げる3大プロジェクト

- ・大型客船誘致による振興（イベント）
- ・港湾感謝祭の盛大化による振興（イベント）
- ・水辺の緑のプロムナードによる365日楽しい港づくり

（イベントの時だけでなく公園やレクリエーションによる振興）

いしのまき港公園

拠点イメージ

- 臨港緑地は365日の利活用（港振興）そしてプロムナードとの連携による拠点機能を兼ねる。
- 強い風を防御し、かつ緑地のシンボル（観光も視野）として、南側に築山を設置。また沿岸には松など潮風に強い樹木を植樹検討。
- 雲雀野海岸プロムナードから緑地南端の展望台まで、プロムナードを配置
- 緑地はイベント広場として活用し、そしてちびっこも楽しめる施設を配置（石巻らしい臨港緑地）。

臨港緑地イメージ図



※当配置図はあくまでもイメージあり、臨港緑地の埋立等が本格化する中で、具体的な施設配置等を検討・設計

利活用の推進に向けて

- プロムナードの全体や現在位置がわかるように案内看板やサインを整備して、プロムナードを巡る散策等を推進。

看板イメージのサイン



イメージ



イメージ

- 拠点の利活用の推進としてイベントを企画・実施。



イベントイメージ

- 緑地の海辺で子供も安全に釣りが出来るような工夫（海辺を散策できるプロムナードに工夫して整備）



水辺での釣りイメージ

臨港緑地施設の利活用(イメージ)



レクリエーション広場でのイベント



競技トラックやプロムナードの利用



ちびっこ広場では、遊具やジャブジャブ広場で子供たちの笑顔が見られます



風除けのための築山と樹木は緑地のシンボルのほか観光としても活用